

第 20 回奈良市文化振興計画推進委員会会議録

開催日時	平成 28 年 5 月 24 日（火）午後 2 時から午後 3 時半まで	
開催場所	奈良市役所北棟 6 階 第 19 会議室	
議題	1 開会 2 会長挨拶 3 現況報告 ・文化振興計画事業評価について ・東アジア文化都市開催について ・第 32 回国民文化祭・なら 2017 第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について 4 その他	
出席者	委員	中川会長、中野委員、山本委員、倉橋委員、村内委員、山下里加委員、山下恭委員 【計 7 人出席】
	事務局	澤野井市民活動部長、柴田文化振興課長、榎田東アジア文化都市推進課長、植松課長補佐、森田主任、土井主任、佐藤（以上文化振興課）
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ●文化振興計画の事業評価について、文化振興課所管の平成 27 年度文化事業の評価を作成したシートで行う ●次回の委員会の開催日時については、後日改めて調整する。 ●今回の会議録の署名は、中川会長と山下恭委員が行う。 	
担当課	市民活動部文化振興課	

議事の内容

1 開会

事務局より平成 28 年 4 月 1 日付け人事異動について報告し、本日の会議の成立について説明した。

2 会長挨拶

開会にあたって中川会長から挨拶。本日の署名委員は中川会長と山下恭委員であることを確認した。

3 現況報告

下記項目について、事務局より説明した。

- ・文化振興計画事業評価について（評価対象と評価シートの変更点について）
- ・東アジア文化都市開催について（事業概要・現在の状況・今後の予定）
- ・第 32 回国民文化祭・なら 2017 第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について（開催目的・実施概要・現在の状況）

文化振興計画事業評価について、事業評価シートの評価対象の変更、評価シート内容の変更の経緯と理由を説明し、新しい事業評価シートを用いてまずは平成 27 年度文化振興課所管の文化事業を評価することを報告した。

東アジア文化都市開催について、正式決定からオープニングの様子について報告し、今後の展望や事業の概要について説明を行った。

第 32 回国民文化祭・なら 2017 第 17 回全国障害者芸術・文化祭奈良大会について、事業の概要を説明すると共に、奈良市の立ち位置や現状、今後の展望について報告した。

委員からの意見等は下記のとおり

◎東アジア文化都市について

- ・広報が不足しているように思う。
 - 教育の場に絡めてはどうか
 - ボランティアのネットワークをもっと活用してはどうか
 - 今からでも気軽に参加できる部分を積極的に PR していくと良い
- ・市民参画の場はないのか、奈良市が貸会場のようにならないようにするべき。
- ・積極的にボランティアに関わる人たちの活用をもっと考えていくと良い。
- ・こういったイベントをきっかけに、これから先も毎年開催されるイベントや全国や世界に通用する市民レベルの奈良ブランドが出来ると良い。

◎東アジア文化都市が終わると来年は国民文化祭があり、さらにその先には東京オリンピック・パラリンピックが控えている。長期的な視点を持って戦略をたてるべき

4 その他

事務局より、「なら国際映画祭」と「ならシネマテーク」の補助金が 3 月議会にて削除された旨と「入江泰吉記念写真賞」は順調に進んでいる旨を報告。

委員会より、文化政策を考える上で都市文化政策と市民文化政策を分けて考えるべきとの提言あり。

次回の会議の開催日程については後日調整する。